

チームラボ、九州陶磁文化館（佐賀）にて、
有田焼の模様がテーブルに広がるインタラクティブな空間

「未来の有田焼があるカフェ」を展示。

10月4日（土）～11月24日（月）まで



【概要】

有田焼創業 400 年事業 特別企画展「白き黄金-有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技-」を、九州陶磁文化館（佐賀）にて開催。チームラボは、併催事業として、有田焼の絵柄がテーブルに広がるインタラクティブな空間「未来の有田焼があるカフェ」を展示。期間は、10月4日（土）～11月24日（月）まで。

【本文】

有田焼創業 400 年事業 特別企画展「白き黄金-有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技-」を、九州陶磁文化館（佐賀）にて開催。チームラボは、併催事業として、有田焼の絵柄がテーブルに広がるインタラクティブな空間「未来の有田焼があるカフェ」を展示。期間は、10月4日（土）～11月24日（月）まで。

■出品作品

未来の有田焼があるカフェ

チームラボ, 2014, 音楽：高橋英明



未来の有田焼を作ってみました。

未来の有田焼があるカフェを、イメージして頂ければと思います。

400年間引き継がれる有田焼は、その時代時代のつくり手たちが見ていた美しい世界を、凝縮し、有田焼に閉じ込めてきたとも言えると思っています。

そんな400年分の、多くのつくり手たちが、見てきた、凝縮された美しい世界を持つことが、有田焼の強みだと思うのです。その強みを生かし、未来の有田焼を作りました。

この有田焼は、テーブルに置くと、その凝縮され閉じ込められていた世界が広がり、テーブルや、空間に広がります。いろいろな有田焼をテーブルに置くことで、それぞれの有田焼から解放された世界は、互いに影響し、テーブルや空間を新たな世界へと、変容させます。

プロジェクターとセンサーさえ取り付ければ、どんなテーブルであろうと、どんな空間であろうと、未来の有田焼を置けば、美しい世界へと変わるのです。

そう、これは、遠い未来の話ではなく、今日、商品にもなるのです。未来の有田焼は、400年分の凝縮された美しい世界ごと売ることができるのです。

そんな未来の有田焼があるようなカフェをイメージして、是非、楽しんでください。

あなたが、テーブルに置く、有田焼の組み合わせで、世界は、創られ、変化していくのです。

【開催概要】

未来の有田焼があるカフェ

会期：2014年10月4日（土）～11月24日（月）

会場：九州陶磁文化館 第一展示室（〒844-0017 [佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1](http://www.pref.saga.lg.jp/web/at-contents/kanko_bunka/k_shisetsu/kyuto/_83801/_83875/_83877.html)）

開館時間：9：00～17：00

休館日：月曜休館（月曜日が祝祭日の場合は開館）

料金：無料

URL:http://www.pref.saga.lg.jp/web/at-contents/kanko_bunka/k_shisetsu/kyuto/_83801/_83875/_83877.html

■チームラボとは

プログラマー・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。

主な実績として、カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。「teamLabBody」が Unity Awards 2013 の Best VizSim Project を受賞（2013）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013～2014 年）。「チームラボと佐賀 巡る！ 巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014～）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。「秩序がなくともピースは成り立つ」が『アルス・エレクトロニカ』にて、Interactive Art 部門の Honorary Mention（入選）を受賞（2014）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年12月19日）。

現在、ハウステンボス（長崎）のイベント『秋の光の王国』にて新作「呼応する木々」を発表（～10月30日）、『国東半島芸術祭』（大分）にて、新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」を発表（～11月30日）。

今後の予定として、『Garden of Unearthly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ/ニューヨーク）で新作含む5作品を展示（10月10日～2015年1月11日）、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（11月29日～2015年3月1日）など。

チームラボ株式会社

<http://www.team-lab.com/>

チームラボ作品紹介

<http://www.team-lab.net/>

■本件に関するお問い合わせ

チームラボ（広報担当・工藤／江城／森）

lab-pr@team-lab.com

03-5804-2356